

未来の有権者啓発事業 ～未来の自分へメッセージ「18歳のわたしへ」～

伊達市では、若年層の投票率向上のため、子どもの頃からの主権者教育を習慣づけることを目的に、市内の小学校6年生を対象に啓発パンフレットを配布し、家族で選挙について考える機会を作ります。

- 1 対象者
市内の小学校6年生
- 2 配布時期
1月末まで（予定）
- 3 パンフレットの内容 「なぜ選挙に行くことが大事なの？」
学校を通じてパンフレットを配布し、「18歳のわたしへ」のメッセージと保護者からのメッセージと一緒に記入してもらう。市選挙管理委員会で記入したメッセージを預かり、記入した本人が有権者となったタイミングで本人宛にメッセージをお返します。
- 4 特 色
有権者となった自分へのメッセージを家族と一緒に記入することで、選挙について考える機会を作り、有権者となった時の投票を促すきっかけとします。
- 5 県内の状況
県内で初めての取り組みとなります。



問合せ	行政委員会事務局 電話 024-575-1204
-----	-----------------------------

伊達市立小学校5年生のみなさんへ

まずは裏面のクイズに挑戦しよう!

選挙に行くことが大切なの? ~家族と一緒に考えてみよう!~



伊達市立	小学校	6年	組
名前			

伊達市選挙管理委員会 伊達市明るい選挙推進協議会

選挙クイズ

あうちの人と一緒にといてみよう!



- 第1問** 何歳になったら投票できる?
- ① 大人になったら
 - ② 18歳
 - ③ 20歳
 - ④ 25歳
- 第2問** 投票所に一番のりした人はあることができます。なんでしょう?
- ① 記念写真をとってもらえる
 - ② 投票用紙を数えられる
 - ③ 特別投票券をまくことができる
 - ④ 投票箱の中を見ることができる
- 第3問** 選挙の経費、投票数と同じだった。どうなる?
- ① すぐで当選人を決める
 - ② もう一度選挙を行う
 - ③ じゃんけんして当選人を決める
 - ④ 話し合いで当選人を決める
- 第4問** 小学生でも投票所に入ることができる? 18歳になるまで入ることができない
- ① 身長150cm以上であれば1人で入ることができる
 - ② 投票する保護者と一緒に入ることができる
 - ③ 事前に予約していれば1人で入ることができる
- 第5問** 投票用紙は普通の紙と異なる特徴があります。なんでしょう?
- ① 燃えない
 - ② GPSがついている
 - ③ すべらない
 - ④ 所々も自然に破れる
- 第6問** 選挙期間中、投票日にだけ予定があっても投票に行けないとき、どうなる?
- ① 罰金を取られる
 - ② 期日前投票が利用できる
 - ③ 不在者投票が利用できる
 - ④ 投票日の翌日なら投票できる
- 第7問** 選挙期間中、長期の旅行でいないとき、どうなる?
- ① 旅行先の市区町村で投票できる
 - ② 投票日の翌日なら投票できる
 - ③ インターネットで投票できる
 - ④ そもそも投票できない
- 第8問** 市長選挙に立候補するには、お金を預けなくてははいけません。さて、いくらでしょう?
- ① 50万円
 - ② 100万円
 - ③ 200万円
 - ④ 300万円



選挙はわかったかな? 思い出せる出来事への第一歩だよ!

若者がもっと投票に行くとうなるの?

グラフを見ると、若者(10代・20代・30代)の投票率が低いことがわかるね。少子高齢化によって若い世代の負担が増え、いくとわかれていくとわかっていってしまう。また若者の声や意見が聞かず、政治に反映されにくくなってしまっている。反対に、若い世代が投票に行く、若者の意見を代弁する候補者が当選する可能性が上がると、学生支援や子育て支援などの政策や若者の意見が政治に反映されやすくなるかもしれないね。そして、それを決めることができるのは、**これから生きていくわたしたち自身なんだよ。**

未来の自分ハメッセーシを書いてみよう!
将来、選挙権を得た自分に届くよ!

投票者の方
未来の自分ハメッセーシを書いてみよう!

投票者の方
未来の自分ハメッセーシを書いてみよう!

年月日 名前

生年月日 年 月 日 名前

伊達市教育委員会

そもそも「選挙」ってなに？

例えば「修学旅行」の行き先をみんなが決めると...

みんながそれぞれ意見を話し合うとまとめるのに時間がかかってしまう。



そこでクラス毎に代表者を決めてクラスの代表者が集まって話し合いをするチームだよね。

学校と同じくわたしたちの社会もいろいろいる人々の考えをもつた人たちがいるけど、全員が集まって話し合うことはすくなくむずかしい。

だから、わたしたちは代表者を選んで、その代表者によってわたしたちのくらしに関係する話し合い(政治)を行っている。その代表者を決めるために「選挙」を行うんだ。

「選挙」はどうして大切な？

わたしたちの国では、みんなが選挙で選んだ代表者によって、政治が行われ、わたしたちのくらしや社会をよりよくするための仕事が進められているよ。

例えば、みんなが普段使っている通学路や学校、教科書などが政治の成果と言えるよ。

ひとりひとりが投票により政治を進める代表者を決めることは、ひとりひとりが政治に参加することになるんだ。これはとても大切なことだよ。

「選挙」で選ばれた人はどんな仕事をしているの？

たとえば、市議会議員さんの仕事は...みんなの意見をまとめて、代表して政治を行い、議会(地域の問題や方針を話し合う場)でルール(条例など)を作ったり、税金の使い方(予算)を決めているよ。

ほかにも、市長さんや国会議員さんも「選挙」で選ばれたんだよ。

どんな「選挙」があるの？

・「選挙」の種類を知ろう!

選挙には国や県、市町村の長や議員などを選ぶ選挙があります。

わたしたちの代表者を選ぶための権利=投票する権利。

18歳以上の日本国民

市議会議員、市長、町議会議員、区議会議員、都議会議員、県議会議員、国会議員

25歳以上の日本国民

衆議院議員、参議院議員

※投票とは、選挙の時に用紙に名前などを書いて投票箱に入れること。

「選挙」のながれを見よう!

選挙は立候補することから始まります!

- 1 立候補を決意し、立候補の届出をします。
- 2 投票所に行き、投票用紙を選びたい候補者の一人の名前を自分で投票用紙に書きます。
- 3 投票された投票用紙は、市区町村ごとに開票所に集められます。そして、集められた投票用紙の点検が行われ、各候補者ごとの得票数が計算されます。
- 4 投票が終わる、候補者別の得票数を確認したら、得票数の多い順に当選人が決まります。

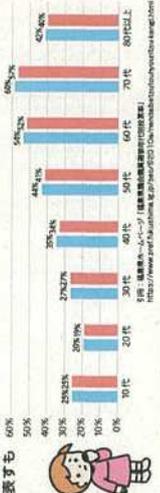
投票から当選人の決定までは次のとおりです。

- 1 投票日に行き、投票用紙を選びたい候補者の一人の名前を自分で投票用紙に書きます。
- 2 投票箱に入れ、投票箱から当選人の決定までは次のとおりです。
- 3 投票された投票用紙は、市区町村ごとに開票所に集められます。そして、集められた投票用紙の点検が行われ、各候補者ごとの得票数が計算されます。
- 4 投票が終わる、候補者別の得票数を確認したら、得票数の多い順に当選人が決まります。

投票率が下がっているって、どういうこと？

投票率とは、投票することのできる人のうち、どのくらいの人が実際に投票したかを表すものだよ。

思い当たる、どうして投票に行かないのかな?

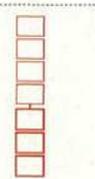


選挙はみんなの思いを政治に伝えるチャンスなのに、2人に1人は選挙に行っていないんだ。このまま投票しないといどうなるか考えてみよう。



投票しないと、自分の声が届かないよ!

「のりしろ」をはがきの内側に入れて貼ってください。



18歳のわたしへ

わたしたちのくらしを支え、願いをかなえていくための民主主義と選挙のしくみ、小学6年生のみんなも、6年後には選挙権をもち、投票することのできるよ。そのときあなたはどんな理由でだれを選ぶの? 考えてみよう。そこにはどんな未来が待っているの? 考えてみよう。

さあ、6年間の自分にメッセージを書きましょう。

※このメッセージは、6年間の選挙権をもちたときに開票所に提出されます。自分の選挙権(自由・意志)を大切に守り、伊賀市選挙区で活躍する候補者の中から、自分が投票したい候補者を選び、投票用紙に記入してください。



伊賀市選挙区選管委員会

のりしろ